大会長 渡辺 直喜

この度、令和5年6月17日(土)、18日(日)に第48回日本体外循環技術医学会九州地方会大会を「くまもと森都心プラザ」にて開催いたしましたのでご報告いたします。

これまで COVID-19 感染拡大によって、九州地方会大会も web 開催を余儀なくされましたが、第 8 波が終息し 2023 年 5 月 8 日から 5 類への移行で 3 年振りに現地開催を行うことができました。テーマは「STEP BY STEP」として日々成長し続ける我々Perfusionist を表した言葉にしました。

大会では、一般演題に13演題と多くのご応募をいただき、内容も多岐に渡り (施設の取り組み、管理、比較検討、症例報告、調査結果、研究など)活発 なディスカッションを各座長にて時間の許す限り行っていただきました。 今回は特に若い技士の方々の発表も散見されたことが印象的で、若手 perfusionist が全国大会前の肝試しの場として地方会大会を活用していただけ ると幹事をはじめ大会に携った我々にとっての喜びとなります。

特別講演では熊本市民病院 小児心臓外科診療部長の深江 宏冶先生に「小児心臓外科手術の特徴」とのテーマで小児心臓外科手術の姑息手術から根治手術 (解剖学的根治・機能的根治) までを術中に撮影した写真や動画を交えながら分かりやすくご講演いただきました。講演後は参加された皆様から小児の心臓手術に対し、なかなか聞けない講演内容に「大変興味を持った」、「分かりやすかった」、「理解できた」などのご意見を聞くことができました。

教育講演では北里大学医療衛生学部 臨床工学専攻 医療安全工学の古平 聡 先生に「体外循環における合併症軽減について考える」というテーマでご講演 いただきました。手術を受けられる患者さんに私達にできるより安心安全な体 外循環を行うために多方面から考えられ、ご自身の臨床経験、研究結果、論文 をもとに広範囲に説明していただきました。

参加者の皆様も体外循環管理に取り入れたい話が幾つもあったのではないでしょうか。

二日目のシンポジウムでは7施設の代表者に「九州の小児体外循環・乳児 VSD を覗く」のテーマで事前にお答えいただいたアンケート(質問数35問)をもとに司会のお二人に場を楽しく盛り上げていただき、各施設の内容を深掘りし有意義な90分にしていただきました。

小児体外循環は限られた世界ですのでこれを機につながりを持っていただけると企画した甲斐もあります。

コロナ感染がまだ心配される中ではありましたが、九州内外から多くの皆様にご来場頂きました。<u>参加者総数 164 名(会員・非会員・学生含む)</u>おかげさまで大会を盛会のうちに無事に終えることができました。これもひとえにご参加いただいた皆様とご協力賜りました協賛企業の皆様のお力添えによるものと深く感謝いたします。

最後に、今大会ではメーカープレゼンテーション 5 社、企業展示 11 社、広告掲載・協賛 20 社と多くの企業の皆様にご支援とご協力を賜りました。 この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

大会の開催にあたり不慣れなことも多く、行き届かないところばかりで皆様には多大なるご迷惑をお掛けしたと思いますが、それでも暖かくご指導いただきました参加者の皆様、九州地方会四役および幹事、顧問の皆様には改めて御礼申し上げます。

特別講演

「小児心臓外科手術における体外循環の特徴」



講師: 深江 宏冶 先生



司会:渡辺 直喜 様

教育講演

「体外循環における合併症軽減について考える」

~Step by step で進める体外循環の低侵襲化~



講師: 古平 聡 先生



司会: 笠野 靖代 様

一般演題 I



座長 : 新木 信裕 様 座長 : 大里 健一郎 様



【 I-1】 当院の MICS 体外循環における取り組み 【 I-2】 当院における PCPS 管理 森 翔之 様



岩田 浩一 様



体外循環管理の比較検討 内野 洋平 様



【 I-3】 データマネージメントシステムを用いた 【 I-4】 小児体外循環における血液透析 濾過併用の有能性について 寺坂 澪奈 様

一般演題Ⅱ



座長 : 野田 政宏 様

座長 : 吉富 晃子 様



【Ⅱ-1】上大静脈腫瘍剥離において静脈-静脈バイ 【Ⅱ-2】高度内頸動脈狭窄を併発した高度大動脈弁 パスが脳障害を回避することができた1症例 松本 光太郎 様



狭窄症に対し一期的手術を施行した一症例 松本 悠汰 様



【 II-3】 心筋梗塞後の心室中隔穿孔に対して Impella 【 II-4】心室中隔穿孔に対して Impella を挿入し support 下で開心術を行った1症例 假屋 佑紀 様



右左シャントを生じた症例の経験 小田 款文 様

般演題Ⅲ



座長 : 諸正 知之 様 座長 : 中田 正悟 様



【Ⅲ−1】AVALON ダブルルーメンカテーテルを 開胸下に使用した小児の一例 池宮 裕太 様



【Ⅲ-2】CPB 中に抗凝固薬にヘパリンとメシル酸ナファモ スタットを使用し管理に難渋した一例 塚野 雅幸 様



【Ⅲ-3】へパリンコーティングとポリマーコーティングが体外 【Ⅲ-4】当院での輸液量削減に対する取り組み 循環血液中の抗凝固タンパクに与える影響



内藤 弘幸 様



【Ⅲ-5】これを聞けばメインポンプ操作がもっと楽しくなるはず ~当院技士5名に聞き取り調査を実施して~ 芦村 浩一 様

シンポジウム



司会 : 又吉 妙子 様

司会 : 堤 善充 様







シンポジスト

 JCHO 九州病院
 入江 潤 様

 福岡市立こども病院
 中野 悦子 様

 九州大学病院
 堤 悠亮 様

 久留米大学病院
 佐々木 俊輔 様

 宮崎大学医学部付属病院
 田中 亮太 様

 鹿児島市立病院
 角野 隆一郎 様

 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 池宮 裕太 様

次期セミナー告知



大会長: 野口 博文 様



次期大会開催告知



大会長 : 大田 善久 様



運営スタッフ

